

～ 熱帯雨林を守ることで「地球温暖化防止」「生物多様性の保全」「コミュニティの支援」を実現 ～
『コープの熱帯雨林保護募金』約145万円を「熱帯雨林保護プロジェクト」へ贈りました
組合員による募金でインドネシア・ボルネオ島の約29ヘクタールの熱帯雨林を1年間保護

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、11月27日、インドネシア・ボルネオ島の熱帯雨林^{※1}を保護するため、『コープの熱帯雨林保護募金』に組合員のべ6,000名以上から寄せられた145万300円（第1期分）を、「熱帯雨林保護プロジェクト^{※2}」へ贈りました。この募金により、約29ヘクタールの熱帯雨林が1年間保護されることになります。コープみらいでは、今後も継続して熱帯雨林の保護に取り組んでいきます。

インドネシア・ボルネオ島には、絶滅危惧種であるオランウータンをはじめ多くの貴重な生物が生息しています。しかし、近年、パームオイルの製造を目的としたパーム椰子のプランテーション開発が進み、世界の中でも深刻な森林減少が起きています。「熱帯雨林保護プロジェクト」は、「地球温暖化防止」と「生物多様性の保全」、そして、熱帯雨林の伐採・加工・販売で成り立つ日々の生活を優先せざるを得ない慢性的な貧困問題を抱える「地域コミュニティへの支援」を目的としています。

『コープの熱帯雨林保護募金』は、2015年6月にコープみらいの組合員を対象に宅配サービス「コープデリ」で開始し（現在は店舗の募金箱、レジでも受け付け）、今回初めて「熱帯雨林保護プロジェクト」に贈りました。「熱帯雨林保護プロジェクト」では、熱帯雨林の伐採を食い止めることで排出回避できたCO₂の量を適切に評価し、経済的な価値を持った「REDD^{レドット}^{※3}クレジット」として販売しており、コープみらいでは、2014年より事業活動で発生するCO₂のオフセットに購入したREDDクレジットを活用することでプロジェクトを支援してきました。今回、組合員の募金で「REDDクレジット」を購入することで、その活動をさらに広げることを目指しています。

なお、募金で購入した「REDDクレジット」はオフセットには使用せず、熱帯雨林保護に貢献した証として保管します。

コープみらいは、「REDDクレジット」を活用したカーボン・オフセットの導入や『コープの熱帯雨林保護募金』による熱帯森林保護を通じて、今後も組合員とともに途上国の持続可能な社会作りに貢献するプロジェクトの支援に取り組んでまいります。

『コープの熱帯雨林保護募金』と支援の流れにつきましては、次ページをご参照ください。

※1 ボルネオ島の熱帯雨林は、スワム（Swamp）と呼ばれる湿地帯に覆われ、CO₂を大量に固定する泥炭（PEAT）層が厚く堆積する世界で他に類を見ない特徴を有しています。インドネシアでは、近年、パームオイルの製造を目的としたパーム椰子のプランテーション開発などによる熱帯雨林の伐採が加速、このまま伐採が続けば、インドネシアの熱帯雨林は、いずれは消滅すると考えられています。

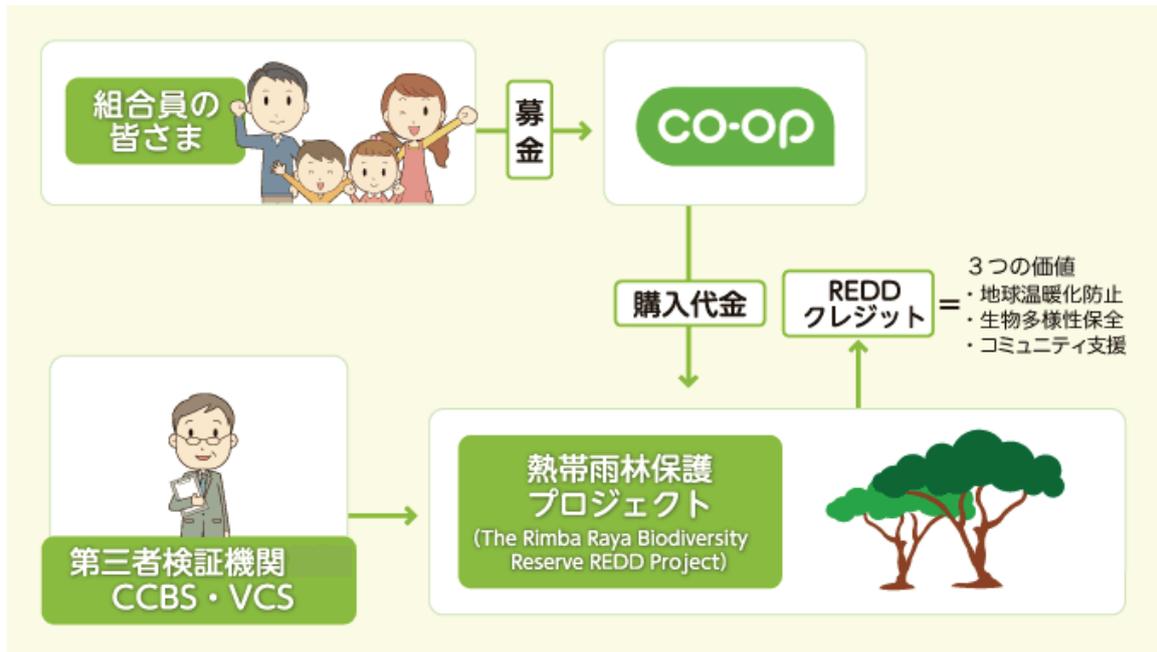
※2 インドネシア・ボルネオ島の中央カリマンタン州において、6万4千ヘクタール（東京都の約1/3）の熱帯雨林を30年間（2009～2038年）にわたり保護することにより、「生物多様性保全」、「コミュニティ支援」さらには「温室効果ガス排出回避」を実現する「リンバラヤ生物多様性保全プロジェクト（The Rimba Raya Biodiversity Reserve REDD Project）。

※3 REDD（Reduced Emissions from Deforestation and forest Degradation）
開発途上国における森林減少・劣化に由来する温室効果ガスの排出削減、および森林伐採や劣化を回避することにより森林や地層に固定されている温室効果ガスの排出を食い止めるプロジェクト。

－「コープの熱帯雨林保護募金」と支援の流れについて－

「熱帯雨林保護プロジェクト」に対しては、国際的に広く活用されている第三者機関（CCBS および VCS）の厳しい審査が行われ、3つの価値（地球温暖化防止、生物多様性保全、コミュニティ支援）が正しく生み出されていることが担保されています。

<支援の流れ>



CCBS : Climate, Community&Biodiversity Standard

「生物多様性保全」と「コミュニティ支援」における審査基準

VCS : Verified Carbon Standard

「温室効果ガス排出回避」における審査基準

詳細につきましては、ホームページ（下記 URL）をご参照ください。

URL : http://mirai.coopnet.or.jp/activity/eco/nettai_urin.php

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【理 事 長】 新井 ちとせ (あらい ちとせ)

【組 合 員 数】 325 万人 (2015 年 11 月 20 日現在)

【総 事 業 高】 3,702 億円 (2014 年度)

【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】 <http://mirai.coopnet.or.jp/>